

令和7年度（2025年度）事業報告 （令和7年（2025年）4月1日から令和8年（2026年）3月31日まで）

国際協力事業

- ① 2025年度国別研修「ポルトガル語圏アフリカ向け市場志向型農業振興（SHEP）強化」
コース研修員受入事業

＜7月14日～8月8日（滝川研修は7月26日～8月8日） 於：札幌市・滝川市内＞

昨年まで実施していたモザンビーク国別研修の後継事業として、独立行政法人国際協力機構（JICA）より研修員を受け入れた。研修前半は、SHEP国別研修・SHEP強化研修2班合同でSHEPプログラムに沿って札幌で開催された。SHEP強化研修班は研修後半に滝川市に入り、農業関係機関の視察や農業者による技能実習指導を通して研修を深化させた。また、後半初日の7月26日にはホームビジットを開催し、地域の方との交流場面を設定した。（受入人数：18名）



- ② JICA課題別研修「仏語圏アフリカ市場志向型農業振興（SHEP）（行政官）（A）（B）」コース
研修員受入事業

＜A：6月5日～20日（滝川研修は8日～14日）

於：札幌市・滝川市内＞

ブルキナファソ2名、ギニア共和国2名、モーリタニア共和国1名、セネガル共和国1名、マリ共和国1名を受け入れた。本研修では、JICA内にあるSHEP専門チームのプログラムに従って実施され、滝川では、農業普及機関の役割、農家支援の仕組み及びJAや民間企業等と農家との連携などについて学んだ。（受入人数：研修員7名、コースリーダー2名、通訳1名 計10名）



＜B：9月18日～10月3日（滝川研修は24日～26日） 於：札幌市・滝川市内＞

ブルンジ共和国1名、コンゴ共和国2名、マダガスカル共和国3名、コンゴ民主共和国2名、セネガル共和国2名、モーリタニア共和国1名を受け入れ、6月研修と同様のプログラムで実施された。（受入人数：研修員11名、コースリーダー2名、通訳1名 計14名）

- ③ 北海道国際協力フェスタ2025

＜12月6日（土） 於：北海道クリスチャンセンター＞

北海道在籍のNGO等が参集し、開発途上国の現状報告やフェアトレードを行う本事業に参加し、事業紹介並びに物販を行った。



- ④ 身近なものによる国際協力

古切手、書き損じはがきの受付を継続している。

- ⑤ NGO等支援事業

「北海道NGOネットワーク協議会」や、マラウイ共和国等を視察した市民から成る「滝川マラウイクラブ」、アフリカ・ケニア共和国を支援している「山口ケニアを知る会」等、開発途上国を支援しているNGO団体等と連携を図り、国際協力活動への支援を行っている。モンゴル国ウブスハンガイ県で活動する「たきかわクラブ」との関係も継続している。

【支援事業】

- ① JICAマリ国別研修「持続的発展のための地方行政強化フェーズ2」研修事業支援

＜8月22日（金）～8月25日（月） 於：滝川市内＞

N T Cインターナショナル(株)が受託・実施している日程のうち、滝川市で開催された研修プログラム実施について J I C A北海道（札幌）からの依頼を受けて支援した。

- ② 北海道国際交流・協力総合センター（H I E C C）主催 外国人住民向け「移動相談会 i n滝川」事業支援

< 8月3日（日） 於：たきかわ観光国際スクエア >

H I E C Cが道内各地を会場にして巡回開催している移動相談会の実施について、依頼を受けて支援した。